



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 萩原電気株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	24,778	11.1	691	49.1	715	75.3	474	87.7
29年3月期第1四半期	22,297	8.9	463	18.1	408	28.3	252	30.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 485百万円 (492.9%) 29年3月期第1四半期 81百万円 (79.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	58.37	
29年3月期第1四半期	30.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	50,716	25,801	50.9
29年3月期	52,370	25,681	49.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 25,801百万円 29年3月期 25,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		35.00		45.00	80.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		37.00		43.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 38円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,100	4.3	1,260	1.8	1,220	0.3	820	6.2	100.92
通期	105,000	3.2	3,000	3.2	2,920	4.4	1,980	9.9	243.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	8,318,000 株	29年3月期	8,318,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	192,686 株	29年3月期	192,653 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	8,125,333 株	29年3月期1Q	8,287,469 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が安定し、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しなどで緩やかな回復基調となりました。海外経済では、欧米は堅調に推移したものの、新興国における政情不安などで先行きの不透明感は払拭できない状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、国内販売では前年同期を上回り、海外販売もまだら模様ながら前年並みに推移してまいりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト抑制を推進し、収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は247億78百万円（前年同四半期比11.1%増）となり、利益面では、仕入先からの受取報奨金が当第1四半期に計上変更されたこともあり、営業利益は6億91百万円（前年同四半期比49.1%増）、経常利益は7億15百万円（前年同四半期比75.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億74百万円（前年同四半期比87.7%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを中心とした半導体や電子部品等の販売に加え、組込ソフトウェア/ハードウェア開発支援、カスタムLSI等の技術サポートを行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型SUVを始めとした自動車生産台数が堅調に推移したことや、先進運転支援システム搭載車両の需要増が寄与した結果、デバイスビジネスユニット事業の売上高は、211億84百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は9億69百万円（前年同四半期比34.0%増）となりました。

(ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、IT機器、計測機器及び組込機器の販売からITプラットフォーム基盤構築の提案に加え、FAシステムや特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主要顧客である自動車関連企業を中心とした企業の設備投資需要や情報化投資需要を的確に捉えるとともに、IoT領域など新規分野への取組みに注力した結果、ソリューションビジネスユニット事業の売上高は35億93百万円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益は1億5百万円（前年同四半期比43.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて16億54百万円減少し507億16百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて16億39百万円減少し461億30百万円となりました。これは主に、商品及び製品が20億63百万円増加したものの、現金及び預金が5億12百万円及び受取手形及び売掛金が34億43百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し45億85百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて17億73百万円減少し249億14百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14億28百万円減少し215億73百万円となりました。これは主に、短期借入金が13億89百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が23億11百万円及び未払法人税等が5億69百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3億44百万円増加し33億41百万円となりました。これは主に、長期借入金が3億43百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億19百万円増加し258億1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は50.9%（前連結会計年度末は49.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年度3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,445	4,932
受取手形及び売掛金	27,801	24,358
電子記録債権	2,127	2,170
商品及び製品	10,977	13,040
仕掛品	349	498
原材料及び貯蔵品	176	214
その他	897	918
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	47,769	46,130
固定資産		
有形固定資産	2,645	2,618
無形固定資産	107	112
投資その他の資産		
その他	1,847	1,855
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,847	1,854
固定資産合計	4,600	4,585
資産合計	52,370	50,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,884	10,572
電子記録債務	1,731	1,929
短期借入金	4,508	5,898
1年内返済予定の長期借入金	1,320	1,575
未払法人税等	639	69
受注損失引当金	0	5
その他	1,917	1,522
流動負債合計	23,002	21,573
固定負債		
長期借入金	3,243	2,900
退職給付に係る負債	191	175
その他	250	266
固定負債合計	3,686	3,341
負債合計	26,688	24,914

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,301	3,301
資本剰余金	3,792	3,792
利益剰余金	18,527	18,636
自己株式	△354	△354
株主資本合計	25,267	25,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	323
為替換算調整勘定	242	209
退職給付に係る調整累計額	△110	△107
その他の包括利益累計額合計	413	425
純資産合計	25,681	25,801
負債純資産合計	52,370	50,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	22,297	24,778
売上原価	20,301	22,409
売上総利益	1,996	2,369
販売費及び一般管理費	1,532	1,677
営業利益	463	691
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	6	6
為替差益	—	1
保険解約返戻金	—	30
関税還付金	15	—
その他	5	6
営業外収益合計	29	45
営業外費用		
支払利息	10	8
為替差損	53	—
売上債権売却損	7	11
その他	13	1
営業外費用合計	85	21
経常利益	408	715
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産処分損	0	1
減損損失	9	—
特別損失合計	9	1
税金等調整前四半期純利益	399	713
法人税等	146	239
四半期純利益	252	474
親会社株主に帰属する四半期純利益	252	474

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	252	474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	41
為替換算調整勘定	△124	△32
退職給付に係る調整額	0	2
その他の包括利益合計	△170	11
四半期包括利益	81	485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	485

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した萩原電気デバイス分割準備株式会社及び萩原電気ソリューション分割準備株式会社を連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社には該当しません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイスビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,975	3,322	22,297	—	22,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	3	18	△18	—
計	18,990	3,325	22,316	△18	22,297
セグメント利益	723	73	797	△333	463

(注) 1 セグメント利益の調整額△333百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイスビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,184	3,593	24,778	—	24,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	7	30	△30	—
計	21,208	3,600	24,809	△30	24,778
セグメント利益	969	105	1,075	△383	691

(注) 1 セグメント利益の調整額△383百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。